

眼科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名 妊娠に合併した耐糖能異常における網膜症進行に関する全国調査

研究責任者 三重大学眼科 杉本昌彦

(共同研究機関と施設責任者)

市立札幌病院眼科	木下貴正
福井大学眼科	高村佳弘
信州大学眼科	平野隆雄
聖路加国際病院眼科	大越貴志子
東京女子医科大学糖尿病センター	北野滋彦
東京医科大学八王子医療センター	志村雅彦
防衛医科大学眼科	高山圭
奈良医科大学眼科	上田哲生
兵庫医科大学眼科	石川裕人
山口大学眼科	木村和博
徳島大学眼科	三田村佳典
神戸大学眼科	楠原仙太郎
滋賀医科大学眼科	柿木雅志
名古屋市立大学眼科	安川力
久留米大学眼科	吉田茂生

研究の目的

妊娠すると血糖値の異常(耐糖能異常)を生じやすくなります。本邦においては妊娠に合併した耐糖能異常患者(妊娠糖尿病ならびに糖尿病合併妊娠)の周産期管理期間における糖尿病網膜症の進行の実態は未だ不明です。本邦における実態を把握するため、多施設による全国調査を行います。多数例を用いた本研究の結果から、一連の妊娠に関連した耐糖能異常における眼科管理の留意点が明らかとなり、より安全な周産期眼科管理を行うことが可能となることが期待できます。

研究の方法

1 対象となる患者さん

2013年から2017年までの期間中に当院の産科および眼科で、妊娠初期から出産後まで経過観察することが出来た妊娠糖尿病ならびに糖尿病合併妊娠の女性。

2 利用するカルテ情報

年齢、糖尿病病型、罹病期間、妊娠前の眼科治療歴、眼科受診時週数、血圧、身長、体重、採血データ、糖尿病網膜症の病期、糖尿病黄斑浮腫の有無、経過観察中の眼科治療の有無、眼科治療があった場合、治療時週数とその内容

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
市立札幌病院眼科